

陽だまり

-Content-

- § がんセンター便り ロボット支援手術(ダ・ヴィンチ)の現状
 - ・2019年にロボット支援手術新時代へ
 - ・前立腺がんが続くダ・ヴィンチ手術～胃がん～
- § 「がん治療と仕事の両立支援」の取り組みについて
- § 緩和ケア・がん相談Q&Aコーナー
- § リレー・フォー・ライフ 2018 信州長野



『がん相談支援センター』へどうぞ

当センターでは、患者さんやご家族が“がん”とうまく付き合いながら心身ともに落ち着いた生活を送ることができるようお手伝いしています。

がんのことについて知りたい、治療に伴う副作用の対処法やいろいろな情報が欲しい、今後の療養や生活のことが心配・・・など、がん医療に関係したご相談やご質問に専門の看護師や医療ソーシャル・ワーカー、社会保険労務士が、分かりやすくお答えします。

例えば、「がんと言われて、頭が真っ白になり不安で一杯」「医師に言われたことがよく分からなかった」「抗がん剤治療中で体も気持ちも辛い」「家族ががんになりどう接していいか困っている」といったご相談に対応しています。すぐに解決ができなくても、話すことは気持ちの整理につながります。お話をききながら一緒に考えていきたいと思えます。

また、毎週木曜日の11:00から15:00は「すまいるサロン」を開催しています。「同じ体験を持つ方々と話をしたい」との思いから発足した、がん患者さんやご家族が笑顔になれるおしゃべり場です。

サロンのボランティア・スタッフは、がんの体験者やご家族です。不安や悩みを共有しあうことで気持ちが軽くなることもあります。

不安・悲しみ・辛さ・喜び・楽しみ・希望・・・なんでもサロンで話してみませんか。辛さは半分に喜びは倍になります。今できることをサロンで一緒に探してみましよう。

どなたでもどうぞお立ち寄りください。お待ちしております。

予約不要。秘密厳守。電話相談も承っています。





がんセンター便り

長野市民病院がんセンター
がんセンター長／副院長 西村 秀紀

■ ロボット支援手術(ダ・ヴィンチ)の現況

低侵襲かつ精度を高めることで、患者さんにより優しい手術となるようロボット支援手術が長野市民病院に導入されて5年以上が経過しました。

当初は前立腺がんのみが保険診療の適応でしたが、腎がんや胃がんへも適応を広げて、近い将来には他領域へも導入されることでしょう。

ロボット支援手術の中核ともいえる泌尿器科と、県内でいち早く保険適応として胃がん手術が可能になった消化器外科から、その現況を紹介します。

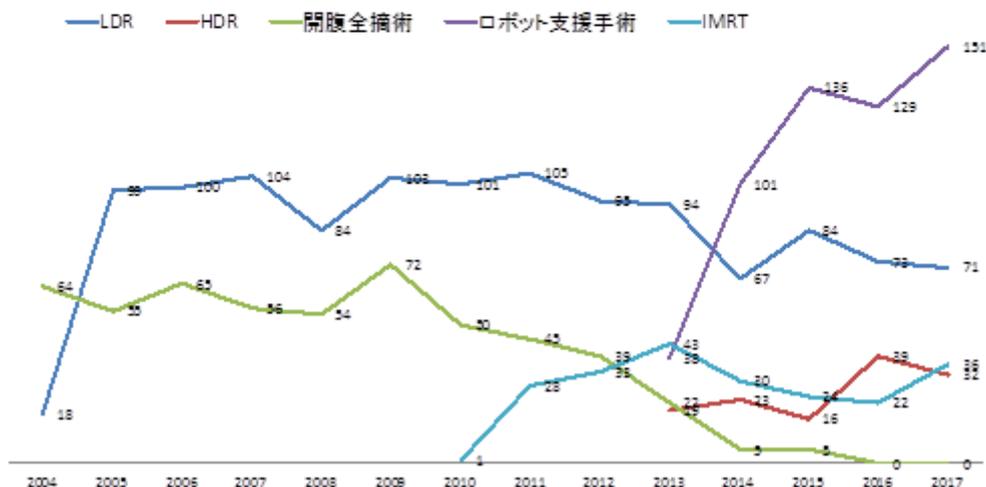
2019 年にロボット支援手術新時代へ

泌尿器科副部長 飯島 和芳

長野市民病院泌尿器科では2013年4月よりロボット支援手術を開始し、2018年9月末までに前立腺がんに対する前立腺全摘除術を659件、また小さな腎細胞がんに対する腎部分切除術を62件行いました。

前立腺がんに対する前立腺局所治療は手術、放射線、またホルモン療法との組み合わせからなります。当院では豊富な治療選択肢があることを案内し、治療経験をもとに腫瘍の状態と患者さんの希望も踏まえ、納得のいく治療が選択できるよう提案しています。近年は手術、放射線治療合わせて年間約300件の局所治療を行い、全国5番目に多い(週刊朝日2018年3月9日号)治療実績となっています。中でも開腹手術と比べ、傷が小さく早期の回復が期待でき、また従来の腹腔鏡下手術よりもより安全で、正確な操作が可能となるロボット支援手術を選択される患者さんが増えています(図1)。

当院での前立腺がん局所治療の推移





ロボット支援手術は1980年代後半、戦場で傷ついた兵士を遠隔操作にて治療する構想にて開発が始まり2000年米国 Intuitive Surgical 社の“da Vinci (ダ・ヴィンチ)”が販売となりました。日本では2012年4月前立腺がんに対する前立腺全摘除術、2016年4月小さな腎細胞がんに対する腎部分切除術の保険収載後、本年4月一挙に12術式が保険収載となりロボット支援手術の役割は広がっているといえます(図2)。



しかし、術者にはロボット支援手術を安全に行うためのトレーニングが必要なこと、また”da Vinci”の導入と維持費が高額であるために、すべての手術がロボット支援手術で行われるようになるには、まだまだ高いハードルがあります。

このような中、2000年の”da Vinci”販売以降約20年にわたりロボット支援手術はIntuitive社が独占状態でしたが、来年2019年には他社からの新たなロボット支援手術装置が販売されるというニュースがあります。安価で、中には”da Vinci”には無い触覚を持つ装置が備えられたという噂もあり、2019年はロボット支援手術新時代の幕開けとなることが予想されます(図3)。

今後市販予定の手術支援ロボット

“Versius” CMR Surgical, UK

2019年

- “Versius” CMR Surgical, UK
- Medcaroid

@川崎重工+シスメックス+神戸大学

2020年

- Verb Surgical
- @Google+ Johnson & Johnson
- Medtronic

<https://www.bbc.com/news/health-45370642>





さらにロボット支援手術が普及し、通い慣れた身近な病院で、様々な手術が可能となれば患者さんにとっては大きなメリットとなります。

外科手術はここ20年で大きな変化がありました。人工知能(Artificial Intelligence; AI)の急速な発展を考えると、20年後のロボット手術はロボットが判断して手術を行う”ドラえもん・鉄腕アトム型”が主流となり、外科医がロボットを支援する側になる可能性もありそうです。その時、我々外科系医師の役割とは何なのか。近い将来を見据え我々の意識も常に進化させていく必要があります。

前立腺がん続くダ・ヴィンチ手術～胃がん～

外科/消化器外科 副部長 佐近 雅宏

当科では開院間もない1995年より早期胃がんを対象に腹腔鏡手術を導入しました。通常の開腹手術に比べて傷が小さいため痛みが少なく、体への負担が少ない利点があります。また、腹腔鏡手術は腹腔鏡のカメラにより、拡大した画像を見ながら手術を行うことにより緻密な手術が可能となりました。

腹腔鏡手術のひとつであるロボット支援下手術(以下、ダ・ヴィンチ手術)はすでに前立腺がんに対して広くおこなわれておりますが、消化器外科領域ではこれまで保険診療ではありませんでした。

2018年4月からは胃がんに対するダ・ヴィンチ手術が施設基準付きで保険診療として認められました。

当院はすでにこの施設基準を満たしており、通常の保険診療で胃がんに対するダ・ヴィンチ手術を受けることができます。ダ・ヴィンチ手術の利点は①ロボットアームを使用することにより、手振れのない操作が可能となったこと。②カメラは3Dカメラを使用しており、肉眼で見ているかのようなリアルな画像により、さらなる緻密な手術が可能となったことなどがあります。

特殊なロボットを使用しますので、医師も特別な資格が必要で、当院では宗像、佐近が術者資格を有しています。胃がんに対するダ・ヴィンチ手術は2018年7月現在で、長野県内では長野市民病院でしか施行できません。

しかし、すべての胃がん手術にダ・ヴィンチ手術や腹腔鏡手術ができるわけではなく、進行した胃がんに対しては、胃癌治療ガイドラインに沿って通常の開腹手術による手術が必要となることもあります。我々は常に新しい手技も取り入れながら、様々な工夫を行っており、胃がんの患者さんに安心して手術を受けていただけるように努力を続けております。



▲ダ・ヴィンチ手術の様子



▲ダ・ヴィンチ操作中の様子





「がん治療と仕事の両立支援」の取り組みについて

当院は、2013年4月より社会保険労務士の有資格職員を常勤配属し、院内でいつでも助言や相談が受けられます（今年度から「両立支援スーパーバイザー」と呼んでいます）。

さらに、「がん相談支援センター」の医療ソーシャルワーカーと、がん看護専門看護師が「両立支援コーディネーター」となり、がんと診断された就労世代の患者さんを早期から把握する等、ますます充実した支援に取り組んでいます。

当院は、今年7月に『**2018年度厚生労働省「両立支援モデル事業」病院**』の一つに選定されました。これは、全国に7病院だけであり、中でも当院は次の3つの支援ができる病院としてそれらの実績が認められたものです。

- ①現在の就業を辞めずにできるだけ継続していただく（これが一番大切）
- ②やむを得ず離職を余儀なくされた方へは再就職前段階をお手伝いする
- ③障害年金を検討される方へはその請求支援を行う（可能ならパート就労との両立を目指す）

（ちなみに他の6病院は、国立がん研究センター中央病院と東病院、北里大学病院、虎の門病院、兵庫医科大学病院、福井県済生会病院です）

その翌8月30日には、企業の経営者や人事担当者等を対象とした勉強会『**会社と病院で一緒に考えよう ～がん患者さんの仕事と治療の両立支援～**』を初開催しました。

この勉強会のねらいは、

- ①治療と仕事の両立について企業と一緒に考える
- ②企業側のお悩みごとをお聴きする
- ③企業の方にも「がん相談支援センター」を利用していただく



ことで、地元の民間企業31社の役員や総務部長、人事課長、地域の保健師・看護師等が集り、企業としてどんな努力ができるかを考えていただきました。（ちなみに、がん患者の従業員がまだいない会社が4割も占めました。）

開催の試みは、病院が企業に直接呼びかけた取り組みとしてマスコミに大きく取り上げられました。これからの両立支援は「病院」と「職場」との連携も大切です。当院は、これを『**病職連携**』と呼んで、当院発のキーワードとして全国展開していきたいと思えます。

北原 啓祐

長野市民病院 がん相談支援センター
両立支援スーパーバイザー／特定社会保険労務士





少量でも栄養価の高いものを

- タンパク質が豊富な卵や乳製品、豆腐など少量でも栄養価の高い食品を利用しましょう。症状が出る前から、少量でも栄養価の高い食品で食べられそうなものを見つけておきましょう。
- 濃い味や酸味、香辛料の香りなどが食欲を刺激することもあります。



冷や奴
(おろし生姜、梅肉
のせなど)



温泉卵
(ポン酢がけなど)



プリン、
アイスクリーム
など

- 食欲を湧かせるには心理面の要素も大切です。好きなものや、楽しい思い出につながる料理などを試してみるのもよいでしょう。リラックスも大切。時には音楽をかけながら食べたり、窓辺に座って食べたりと雰囲気を変えてみることで食が進むこともあります。
- 手軽に栄養摂取ができる栄養調整食品もおすすめです。

常備すると助かる栄養調整食品

- 少量で、エネルギーだけでなく、タンパク質、ビタミンや亜鉛、鉄、カルシウムなどのミネラル、食物繊維を摂ることができます。継続して摂ると、栄養状態の維持・向上を助けることが期待できます。
- ドリンクタイプとゼリータイプがあり、症状や好みに合わせて選択できます。味の種類も多く、毎日飽きることなく摂取できます。



ドリンクタイプ

コーンスープ味に牛乳を加えたり、溶き卵を加えて、アレンジ。。。



ゼリータイプ

フルーツ味やヨーグルト味に、フルーツ缶詰を加えて、アレンジ。。。



お困りのことがありましたら、お気軽に『がん相談支援センター』までどうぞ。

がん相談支援センター 専従看護師 高池和美

うがいや 水分摂取をこまめに

治療中は口腔内が乾いて荒れやすく、食欲にも影響します。こまめにうがいや水分補給をし、口腔内をきれいに保ちましょう。

リレー・フォー・ライフ 2018信州長野

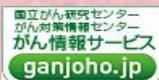


がん患者支援 24h チャリティ・イベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野」は、昨年台風の影響により開催が中止となり、今年9月15日（土）～16日（日）に「篠ノ井中央公園」で2年ぶりの開催となりました。



初日の午前中は雨模様でしたが、12時の開会式のころには雨もあがり、翌日には天候も回復しました。

当院も実行委員会に加わりイベントを盛り上げるとともに、チームを組んで参加しました。参加チーム総数は35チーム、参加者総数は2日間で約3,000人となりました。



がん情報サービス をご存じですか？

独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターの「がん情報サービス」では、科学的根拠に基づく信頼性の高い最新のがん関連情報が提供されています。

国立がん研究センターのホームページから  のロゴをクリックするか、「がん情報サービス」のサイトに直接アクセスしてください。 (<http://ganjoho.jp/>)

医療者からの説明や、今後の方向性について頭の中を整理するのに役立つものと思います。情報収集のひとつとしてご活用ください。

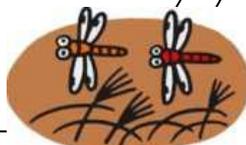
「がん相談支援センター」でも、閲覧や検索のお手伝いをしています。どうぞお越してください。

利用者数



がん相談支援センター 相談件数

| | |
|----------|------|
| 2018年 4月 | 275件 |
| 2018年 5月 | 279件 |
| 2018年 6月 | 247件 |
| 2018年 7月 | 225件 |
| 2018年 8月 | 263件 |
| 2018年 9月 | 149件 |



すまいるサロン（毎週木曜日） 来室者数

| | |
|----------|----------|
| 2018年 4月 | 4回/延べ21人 |
| 2018年 5月 | 4回/延べ14人 |
| 2018年 6月 | 4回/延べ20人 |
| 2018年 7月 | 4回/延べ21人 |
| 2018年 8月 | 5回/延べ17人 |
| 2018年 9月 | 4回/延べ30人 |



今後の
予定

オアシスの会（ストーマ造設患者の会）

・定例会（クリスマス お楽しみ会）

12月8日（土）12:00～15:00「第4・5・6会議室」にて

すまいるサロン

毎週木曜日 11:00～15:00

「がん相談支援センター」にて



土曜日のがん相談

（事前予約制、無料）

毎週土曜日 8:30～12:30 「がん相談支援センター」にて

がん教室

（事前申込制、参加無料）「市民健康ホール」にて

12月17日（月）13:30～15:00 『がんリハビリテーションについて』

1月21日（月）13:30～15:00 『がん治療中の食事について』

2月18日（月）13:30～15:00 『アピアランスケア（外見のケア）について』

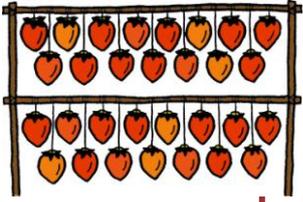
3月18日（月）13:30～15:00 『がん治療中の食事について』

がん患者さんの就労両立支援出張相談窓口（長野産業保健総合支援センター）

産保センターの両立支援促進員と、当院常勤の社会保険労務士が
一緒にご相談を承ります。（事前予約制、無料）

| | | | |
|-----------|---|-----------------------|---------|
| 12月15日（土） | } | 各日とも、次の①～③の枠でご予約ください。 | |
| 1月19日（土） | | | ①9:30～ |
| 2月16日（土） | | | ②10:30～ |
| 3月16日（土） | | | ③11:30～ |

「がん相談支援センター」にて



※各イベントの詳細・お申込みは、「がん相談支援センター」までお問合せください。

すまいるサロン便り『陽だまり』第26号
2018年11月発行



発行：長野市民病院
がん相談支援センター
専用ダイヤル：026-295-1292

